

Pythonを活用した事務業務の効率化

人材育成上の課題・目標

- ・定型業務に時間がかかり、効率化したい
- ・属人化されたツール管理を簡単に自動化したい
- ・業務を効率化するために、Pythonの活用法を知りたい

課題解決・目標達成を目指して

- ・Pythonを活用して日常業務の効率化をする
- ・Pythonを使って定型業務を自動化する
- ・Pythonの活用事例を知る

コースのねらい

自社の業務負担を軽減することを目指して、定型業務の自動化を実現するためのPythonの活用法を習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ Pythonの基本知識	<ul style="list-style-type: none"> ・Pythonとは ・基本文法（変数・条件分岐・ループ） ・実行環境
	■ 業務で使えるPython自動化基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル操作 ・ライブラリ ・データ集計の自動化
	■ Python活用業務	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ作成 ・PDF等の自動出力 ・エラー処理と実務
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・日報の自動処理 ・月次報告レポートの自動作成 ・ファイルの一括リネーム・移動スクリプト
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> ・自社業務を題材にした自動化スクリプト作成 ・Pythonを活用した業務の効率化事例 ・再利用性の高い自動化処理

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。

※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

中堅層、管理者層

関連コース

- A バックオフィス
- ・ITツールを活用した業務改善
 - ・RPAを活用した業務効率化・コスト削減
 - ・RPA活用
- B 組織マネジメント
- ・業務効率向上のための時間管理
 - ・成果を上げる業務改善
- D データ活用
- ・表計算ソフトを活用した業務改善
 - ・業務に役立つ表計算ソフトの関数活用 ほか

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

037

企業価値を上げるための財務管理

人材育成上の課題・目標

- ・財務諸表（貸借対照表、損益計算書など）の概要を社員に教育したい
- ・収益と資金を確保する方法を知りたい
- ・キャッシュフローによる利益・資金計画の方法を知りたい
- ・コストコントロールの方法を知りたい
- ・目的に応じた財務分析・計画の方法がわからない



課題解決・目標達成を目指して

- ・財務諸表作成方法を理解する
- ・財務分析をシミュレーションする
- ・利益計画と資金計画の作成手法を理解する
- ・コストダウン計画を策定する
- ・財務分析に基づく利益計画を策定する

コースのねらい

財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 財務の概念と財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> ・財務管理と財務諸表の概要 ・貸借対照表 ・損益計算書 ・キャッシュフロー計算書
	■ コストと資金管理	<ul style="list-style-type: none"> ・概念とコストコントロール ・資金管理の概要 ・設備投資 ・資金計画
	■ 財務分析と財務計画	<ul style="list-style-type: none"> ・財務分析の概要 ・財務分析方法 ・財務分析の活用 ・財務計画の概要
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に基づく財務諸表作成演習 ・事例に基づく財務分析結果のグループ討議 ・自社におけるコストダウン実行計画の策定
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> ・財務分析による利益計画の策定 ・ソフトウェアを活用した財務分析手法 ・現場におけるコストダウン活動のポイントと事例紹介

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

初任層

関連コース

A 生産管理
 ・原価管理とコストダウン
 ・購買・仕入れのコスト削減

A 流通・物流
 ・流通システム設計
 ・物流システム設計

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
 なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

022

I o T を活用したビジネスモデル

人材育成上の課題・目標

- ・ I o T、ビッグデータがよく理解できていない
- ・ I o T、ビッグデータがビジネスに与える影響やメリットがわからない
- ・ 自社で I o T、ビッグデータを活用できるのか分らない
- ・ I o Tなどでビッグデータを自社で蓄積しているが、具体的な活用方法が分らない



課題解決・目標達成を目指して

- ・ I o T、ビッグデータの動向や利活用事例などから概要を理解する
- ・ バリューチェーンに沿った各業種に及ぼされる I o T の影響を把握する
- ・ 自社における I o T ビジネス展開を具体的に検討する
- ・ ビッグデータ活用の成功・失敗事例から自社への適用の是非を検討する
- ・ ビジネス展開のための I o T 活用の際の制約・注意事項を把握する

コースのねらい

自社における I o T を活用したビジネスの展開をめざして、I o T やビッグデータ活用の進展によるビジネス環境の変化や動向を理解し、I o T ビジネスを具体的に検討するためのポイントを習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ I o T とビッグデータ活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ I o T やビッグデータによる環境変化と動向 ・ 企業における I o T 利活用
	■ I o T を活かした事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリューチェーンに沿って各業種に I o T が及ぼす影響 ・ I o T を活用したビジネスを展開するための制約及び注意点 ・ スマートファクトリーの現状
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビッグデータ分析演習 ・ I o T に対応するビジネス展開のための問題点検証 ・ 自社における I o T ビジネス展開の具体的な検討（グループワーク）
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェアラブル端末データの活用方法 ・ データの収集、蓄積、処理に関する技術 ・ ビッグデータを活用した企業の成功事例及び失敗事例の紹介

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

管理者層

関連コース

- A バックオフィス
 - ・ クラウド活用入門
 - ・ I o T 活用によるビジネス展開
 - ・ クラウドを活用したシステム導入
 - ・ I o T 導入に係る情報セキュリティ
 - ・ 生成A I の活用
- C プロモーション
 - ・ チャンスをつかむインターネットビジネス

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

084

ダイバーシティ・マネジメントの推進

人材育成上の課題・目標

- ・ダイバーシティ・マネジメントについて知りたい
- ・ダイバーシティ・マネジメントの導入に当たっての留意点や課題を知りたい
- ・ダイバーシティ・マネジメントの客観的な評価指標を知りたい
- ・育児や介護を抱えた従業員が働き続けられる職場としたい
- ・テレワークや短時間勤務など多様な働き方への従業員の理解を深めたい
- ・高齢者・障がい者・外国人など多様な人材が活躍できる職場としたい



課題解決・目標達成を目指して

- ・ダイバーシティ・マネジメントについて理解する
- ・ダイバーシティの推進が生産性向上につながることを理解する
- ・ダイバーシティ・マネジメントを推進するための体制を理解する
- ・重要業績評価指標（KPI）を使用した評価方法を理解する
- ・ダイバーシティ・マネジメントの取組み事例を知る

コースのねらい

企業における人材の多様性（ダイバーシティ）を進展させ、その一人ひとりが能力を発揮できる体制と環境を整えることで、生産性を上げる組織づくりを習得する。

カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ ダイバーシティ・マネジメントとは	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ・マネジメントとは ・ダイバーシティの効果 ・日本企業の現状 ・ダイバーシティ2.0行動ガイドライン
	■ ダイバーシティ・マネジメント導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ・ポリシーの策定 ・ロードマップ及び重要業績評価指標（KPI）の策定 ・推進体制の整備 ・ガバナンス
	■ 生産性向上のためのダイバーシティ・マネジメントの評価と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIによる運用 ・PDCAサイクルによる評価と改善
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の受容と悩み（グループディスカッション） ・自社の状況把握・課題分析 ・自社に合ったロードマップ及びKPIの策定
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ・マネジメント実施事例 ・日本国外の企業の現状と日本企業との比較 ・多様な人材を生かすための取組

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

管理者層

関連コース

- B 組織マネジメント
- ・現場社員のための組織行動力向上
 - ・顧客満足度向上のための組織マネジメント
 - ・成果を上げる業務改善
 - ・組織力強化のための管理
 - ・管理者のための問題解決力向上

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合

人材育成上の課題・目標

- ・SDGsの概要を知りたい
- ・SDGsがどのようにビジネス成長のチャンスとなるのか知りたい
- ・SDGsの取り組み方法を知りたい
- ・SDGsを意識したバリューチェーンの強化、見直しをしたい



課題解決・目標達成を目指して

- ・SDGsに取組み、社会が抱える様々な課題を知る
- ・企業によるビジネスとSDGsや社会課題解決の関係を理解する
- ・SDGsとSociety 5.0、DXとの関連性を知り、ビジネスにおいて新たな市場の開拓、ビジネスモデルの変革に繋がることを理解する
- ・バリューチェーンを理解する
- ・SDGsの取組事例を知る

コースのねらい

世界中の企業がSDGsを経営の中に取り込もうと力を注いでおり、SDGsを経営に組み込むべく様々な取組が進められている中でSDGsの必要性を理解し、自社のビジネスの成長につなげる知識を習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ SDGsの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsとは ・SDGs経営ガイドとは ・SDGsとSociety 5.0、DXの関連性
	■ SDGsの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの取組事例の紹介 ・SDGsに取組むことのメリット（企業イメージの向上、社会課題への対応企業の生存戦略、新たな市場の開拓等）
	■ 開発目標の戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsコンパスを活用した企業取組 ・KPIの設定方法
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を通じたSDGsバリューチェーンの分析 ・自社における課題の洗い出し
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> ・自社におけるSDGsの展開の検討 ・DXを活用したビジネスモデルの検討

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

中堅層、管理者層

関連コース

- B 組織マネジメント
- ・ダイバーシティ・マネジメントの推進
 - ・現場社員のための組織行動力向上
 - ・顧客満足度向上のための組織マネジメント
 - ・成果を上げる業務改善
 - ・組織力強化のための管理
 - ・管理者のための問題解決力向上

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

事故をなくす安全衛生活動

人材育成上の課題・目標

- ・効果的な安全対策を講じたい
- ・社員が行う安全衛生活動を活性化したい
- ・安全衛生に関する社内教育を行いたい
- ・小さなトラブルが続くので不安である
- ・自社で今できることから安全対策を始めたい



課題解決・目標達成を目指して

- ・安全対策の意義、労働災害による損失を知る
- ・安全衛生に関する基本知識を習得する
- ・自社における災害や事故のリスク分析と評価を行う
- ・各種安全衛生活動の実施方法を理解する（危険予知、パトロール、チェックリスト）
- ・組織的な取組み、各種点検結果のフィードバック体制を構築する

コースのねらい

職場の安全衛生の改善をめざして、安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、リスクを低減するための点検手法についての知識を習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 安全衛生概論	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における安全衛生の意義 ・安全衛生関係法令 ・災害発生メカニズム ・有害物質とエネルギーによる職業性疾病
	■ 企業における安全衛生活動	<ul style="list-style-type: none"> ・危険予知活動とヒヤリ・ハットの概要 ・安全衛生パトロールの概要 ・メンタルヘルスとストレスチェックの概要
	■ 点検による管理	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクレベルに応じた点検 ・チェックリスト作成のポイント
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を活用した危険予知演習 ・安全衛生上の問題点に係るグループワーク ・点検チェックリストの作成演習
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害防止の具体的な対策 ・リスクアセスメントによる安全衛生管理の導入事例紹介

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

中堅層

関連コース

B 組織マネジメント
 ・リスクマネジメントによる損失防止対策
 ・ナレッジマネジメント
 ・物流現場のリーダー育成

A 生産管理
 ・生産現場の問題解決
 ・生産計画と工程管理

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
 なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

個人情報保護と情報管理

人材育成上の課題・目標

- ・ 自社における個人情報保護管理体制が確立されていない
- ・ プライバシーマーク制度の認定を受けたい
- ・ セキュリティ意識が低い社員が多く外部との情報のやり取りに不安がある
- ・ 安心・安定した情報管理体制を構築したい



課題解決・目標達成を目指して

- ・ 個人情報の漏えい防止対策を再検討する
- ・ 認定取得の手続きや留意事項を理解する
- ・ オフィストータルでの情報管理を最適化する
- ・ クラウドなどを活用した情報管理方法を理解する

コースのねらい

企業における個人情報の活用と保護の両立をめざして、個人情報保護法について理解し、セキュリティ技術に関する知識・技能を習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 個人情報保護	・ 法令の概要と事業者の義務 ・ 法令に対する対応
	■ プライバシーマークの運用	・ プライバシーマーク制度の運用 ・ 認定取得の手続きおよび留意点
	■ セキュリティ技術	・ オフィストータルでの情報管理の最適化 ・ 情報管理の具体的活用方法
	演習（例）	・ 個人情報保護に係る事例を通じたグループワーク ・ 個人情報の流出が発生した場合の対応と再発防止策の検討 ・ 個人情報のライフサイクルに応じたリスクアセスメント
応用・実践要素（例）		・ マイナンバー（社会保障・税番号）制度について ・ クラウド活用における情報セキュリティ技術 ・ 個人情報流出事例から学ぶ保護対策について

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

管理者層

関連コース

- A バックオフィス
 - ・ クラウド活用入門
 - ・ クラウドを活用したシステム導入
- B 組織マネジメント
 - ・ 個人情報保護と情報管理
 - ・ eビジネスにおけるリーガルリスク
 - ・ ナレッジマネジメント
- C 営業・販売
 - ・ 顧客分析手法

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

高年齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築

人材育成上の課題・目標

- ・体力・身体機能の低下を知りたい
- ・高年齢労働者にとっての危険作業・危険箇所を知りたい
- ・危険作業・危険箇所に対する改善策を知りたい
- ・高年齢労働者のために安心・安全な職場の環境を築きたい



課題解決・目標達成を目指して

- ・高年齢労働者に必要な安全配慮を理解する
- ・加齢による身体機能の低下と労働災害の傾向を理解する
- ・加齢による精神機能の低下と労働災害の傾向を理解する
- ・身体機能の低下を補う設備・装置の導入検討ができる
- ・高年齢労働者の特性を考慮した作業管理ができる
- ・高年齢労働者のための安心・安全な職場環境を構築できる

コースのねらい

高年齢労働者が安心・安全に働くことのできる職場環境の構築や作業方法等の見直しにかかる知識と技能を習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 加齢に伴う労働災害の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・安全配慮義務 ・加齢に伴う精神機能の低下と高年齢労働者に多い労働災害 ・加齢に伴う身体機能の低下と高年齢労働者に多い労働災害（転倒、墜落・転落、腰痛の防止）
	■ 職場環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の危険の見える化 ・床（段差、滑り等防止）の整備 ・視覚及び聴覚環境の整備 ・熱暑及び寒冷環境の整備
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオで見る安全衛生活動 ・危険予知訓練 ・安全パトロールによる不安全行動と不安全状態の指摘と安全対策
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生教育（高年齢労働者及び管理監督者等） ・高年齢労働者の活躍促進のための安全衛生対策好事例 ・国、関係団体等による支援の活用

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

管理者層

関連コース

- B 組織マネジメント
 - ・事故をなくす安全衛生活動
 - ・ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上
- B 生涯キャリア形成
 - ・若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（実施編）
 - ・若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（点検編）
- A 生産管理
 - ・生産現場の問題解決

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

リスクマネジメントによる損失防止対策

人材育成上の課題・目標

- ・企業経営におけるリスクとは、どういうものか知りたい
- ・リスクマネジメントは、危機管理やリスクヘッジとは何が違うのか
- ・リスクマネジメントの最良な方法がわからない
- ・自社のリスクを「見える化」したい
- ・いろいろなリスクが想定され、困っている



課題解決・目標達成を目指して

- ・企業経営におけるリスクとその影響を知る
- ・リスクマネジメントの取組みとPDCAを理解する
- ・リスク認識のための各種方法を理解する
- ・リスク評価（発生予測と、その影響度）と分析方法を理解する
- ・リスク対応（シナリオ）を検討する

コースのねらい

リスクマネジメントに関する考え方や方法を理解することで、リスクによる損失の回避及び損失拡大の防止を行い、不確定要素の軽減及び排除を目指す。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ リスクマネジメントとは	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクとリスクマネジメント ・リスクの予測 ・リスク分析とリスク評価 ・組織的な体制の構築
	■ リスク分析手法	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクの優先順位付け ・リスクの定量化手法 ・シナリオ分析法 ・リスクマトリクス法
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・事例に基づくリスク分析・評価演習 ・危機管理マニュアル例に基づくグループワーク ・担当業務におけるリスク分析演習
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理体制づくりのポイント ・リスクコミュニケーションの必要性 ・クレーム対応もしくはアンガーマネジメントに基づく損失回避事例

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

管理者層

関連コース

- B 組織マネジメント
- ・事故をなくす安全衛生活動
 - ・個人情報保護と情報管理
 - ・eビジネスにおけるリーガルリスク
 - ・ナレッジマネジメント
 - ・知的財産権トラブルへの対応（1）
 - ・知的財産権トラブルへの対応（2）

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

災害時のリスク管理と事業継続計画

人材育成上の課題・目標

- ・災害時の損失回避や低減策を検討したい
- ・突発的な自然災害のリスク管理体制を強化したい
- ・事業継続計画の策定がしたい
- ・事業継続計画に関する従業員教育を行いたい
- ・事業継続計画の改善を検討したい



課題解決・目標達成を目指して

- ・災害におけるリスクマネジメントの理解
- ・事業継続計画導入と実施体制の理解
- ・事業継続計画導入・運用・改善ポイントの実践

コースのねらい

災害は突発的に発生するため、緊急時の対応力が求められるが、想定通りに発生するはずもなく緊急時の対応・判断は難しい状況がある。そうした状況が発生した際にも復旧の遅れや自社のサービスが供給できないことによる顧客離れを防ぎ、事業への被害を最小限に抑えるためのリスク管理と事業継続計画に関する知識を習得する。

カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 災害におけるリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の種類と損害 ・初動対応の重要性 ・災害リスクの洗い出しと分析 ・リスクコントロール
	■ 事業継続計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画とは ・事業継続計画策定の流れ ・事業継続計画の導入と実施体制 ・手順・計画マニュアルの作成
	■ 事業継続計画の周知と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への周知と教育 ・事業継続計画の点検・評価方法 ・継続的な改善プロセス
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の災害を想定したリスクの洗い出し・分析演習 ・事業継続計画の策定におけるケーススタディ ・自社の事業継続計画作成演習
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画導入・運用のポイント ・事業継続計画の改善事例紹介

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

管理者層

関連コース

- A 生産管理
 - ・生産現場の問題解決
- B リスクマネジメント
 - ・リスクマネジメントによる損失防止対策

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。